



令和4年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ

長野高等学校 学校長だより

(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和4年

No17

1月20日(金)

大学入学共通テスト、大きな混乱なく終了

標記テストが1月14日(土)・15日(日)に実施されました。今年は比較的天候にも恵まれて無事終了しました。本校生徒は文系・理系、受験科目等により、信州大学(教育学部・工学部)、長野県立大学、長野清泉女学院大学の各会場で受験となりました。残念ながら今年も各会場入り口での教員の激励はできず、3年前にこの激励のために作製した10本(紅・白)の幟(のぼり)を使用することができませんでした。代わりというわけではないですが、昇降口に置いて3年生を激励しています。残りの8本の幟はいまだに日の目を見ず倉庫に眠ったままです。さて、3年生の皆さんは、3月まで受験は続くので最後まで高みを目指して頑張りましょう。進路主任の大池先生「コロナの影響で受験できない、という生徒さんが居なくて良かったです。前日の13日(金)には武道場で3年生の激励会が開かれましたが、各担任の先生方の個性を活かした激励で、和やかな雰囲気です。結果のリサーチが返ってきてから出願となりますが、受験を終えた生徒さんに笑顔が見られるので、強気で出願できるように背中を押してあげたいと思います。」



健康チェックカード2月から変更＝出席停止(欠席にならない)扱いを限定します。

12月23日発行のNo15「学校長だより」でお伝えした通り、新型コロナウイルス感染症への対応を軌道修正していきます。まずは**健康チェックカードの内容を2月1日より右のように変更**します。

したがって、身体的な面で

「出席停止」(欠席とにならない)扱いとなるのは「**いつもと違う風邪症状**」と「**同居者の状況**」に限定します。本人が「感染(陽性)」および「濃厚接触」となった場合は当然出席停止となります。

	日付
朝(登校前)の体温	
① いつもと違う風邪症状(発熱・のどの痛み等)がある。 (症状を具体的に記入)	
② 同居者がPCR検査等の検査を行う予定がある。または同居者に風邪症状(発熱・のどの痛み等)がある。	

日本情報オリンピック本選出場。おめでとうございます。



第22回日本情報オリンピック予選で本校2年の鈴木謙太郎さんがAランクという優秀な成績で本選(全国大会)に出場することになりました。おめでとうございます。本選での優秀者はハンガリー大会に出場となります。鈴木さん「情報オリンピックの存在は先輩がチャレンジしていたので1年の時から知っていました。1年の2月頃に応募の方法等を調べ、勉強を始めました。9月から一次予選が始まり、12月中旬には二次予選があり、プログラムを書いて課題を解決するという内容で、3時間で5問に挑戦しました。自分なりに手ごたえを感じていました。本選(全国)は2月5日・12日(日)で、競技は12日です。残り1カ月で、できる限りのことをしていきたいと思います。自分が調べた限りでは本選への出場は自分が初めてなので、後輩にもぜひ挑戦してもらいたいと思います。」(インタビューは1月11日)

ECC班、全国大会で強豪校とつばぜり合い、第5位入賞！



(下) 準々決勝に進出した8校

ECC班は昨年12月に**2つの全国大会に出場**。17・18日にアカデミックディベート全国大会（準備型）で24位入賞（64校参加）。24・25日のPDA高校生即興型英語ディベート全国大会では**2年中村朱里さん・石井友規さん・浜田彩花さん**が出場し第5位入賞しました。おめでとうございます。すばらしい。PDAでは78校の出場校中、本校は予選6位で準々決勝に進出しました（写真）。惜しくも準決勝には進めませんでした。2年連続のベスト8進出で素晴らしい成績でした。また、団体の賞とは別に、対戦の中で多く質問した人に贈られる「**ベストPOI賞**」を**石井さんが受賞**しました。おめでとうございます。顧問の**徳田先生**「即興型ディベートは論題が発表されてから準備時間が15分で試合開始です。今年度は「カーボンニュートラル実現のために、消費者の行動(所有、利用)は制限されるべきである」「中高ではオンライン授業を導入し、学区を撤廃するべきである」など7つの論題でした。肯定と否定のサイドは選べないこともあり、どちらのサイドからも議論を組み立てられるように、身近な話題や世界情勢にも気を配り、幅広い背景知識を持っていることが大切になります。準備型と即興型共に、班長を中心に班員全員の切磋琢磨が実を結んだ形になって嬉しく思います。」

準々決勝			
Table	Government	Opposition	Judge
1位	聖光	8位	藤島
2位	岐阜	7位	神大附属
3位	栄光	6位	長野
4位	筑駒	5位	東桜

商店街の活性化に、本校生徒さんが「謎解き」で一役

3年宮本佐和子さん、2年原山奈乃子さん、飯嶋純花さんが、自分たちの活動が冊子に掲載された旨と、その活動について報告してくれました。三人は**クイズ研究会（非公式）のメンバー**で、非公式のため活動場所の一つとして長野駅に近い南石堂町会公民館をご厚意でお借りしているそうです。昨年の善光寺御開帳の時期に、南石堂町商店街は手作りの非接触型まち歩きイベント「謎解きで周遊お客様キャンペーン」を実施しましたが、日頃お世話になっているのでお手伝いするつもりで、謎解きクイズの制作を担当したそうです。その時の取組が全国商店街支援センター発行の「EGAO（エガオ）」という雑誌に取り上げられました。**三人のコメント**「商店街の企画に沿うように謎解きを作るのは苦労しました。いざ謎解きが貼られ、感想をもらう段になると、公民館を使わせてもらっている恩返し、とまでは言えないですが、力になれたのかな、と思いました。謎解きで地域の方とイベントを協働したのは良い経験で、南石堂町の商店街にも詳しくなりました。これからも協力してまちを盛り上げていきたいらいいなあ、と思いました。」



「EGAO」に掲載された記事